

ARIBの動き

マルチメディア移動アクセスフォーラム(MMACフォーラム)  
平成19年度定期総会が開催される

去る6月4日、東海大学校友会館「望星の間」(霞が関ビル)において、マルチメディア移動アクセスフォーラム(MMACフォーラム、会長：齊藤忠夫・東京大学名誉教授、事務局：電波産業会)の平成19年度定期総会が開催されました。齊藤会長の開会挨拶に続いて、総務省総合通信基盤局の河内正孝電波部長から、「MMACフォーラムが行った無線アクセスシステムやUWBの規格案作成に感謝しており、今後も次世代無線LAN、ミリ波無線システム、UWB等の電波システムの発展に寄与することを期待している。」との来賓挨拶がありました。

定期総会では、平成18年度の事業報告及び収支決算、平成19年度の事業計画及び収支予算並びに役員を選任について審議が行われ、全て提案のとおり承認されました。

また、定期総会後に、NTTBP(株)の小林忠男代表取締役社長から「ワイヤレスブロードバンドと“つくばエクスプレス”」との演題でご講演をいただき、活発な質問が寄せられました。

その後、懇親会が開かれ、マルチメディア移動アクセスの今後について話し合う会員の輪がいくつも見受けられました。



MMACフォーラム平成19年度定期総会の様子



講演の様子



齊藤忠夫会長



河内正孝電波部長



NTTBP 小林忠男社長

## ITS情報通信システム推進会議平成19年度総会の開催

去る6月7日（木）、ARIBが事務局を務めるITS情報通信システム推進会議（会長：豊田章一郎トヨタ自動車㈱取締役名誉会長）の平成19年度総会が、霞が関東京會館ゴールドスタールーム（霞が関ビル）で開催されました。この総会では、豊田会長の開会挨拶の後、羽鳥光俊副会長が議長に就き、平成18年度の事業報告及び収支決算、平成19年度の事業計画及び収支予算並びに平成19年度の役員及び運営委員選任について審議が行われ、いずれも提案どおり議決されました。

豊田会長からは、IT新改革戦略で「世界一安全な道路交通社会の実現」が取り上げられ、各方面で安全運転支援システムの開発や実証実験が進められている中で、車々間通信及び路車間通信の標準化の立場から、安全運転支援システムの大規模な実証実験や実用化に貢献していきたいとの挨拶がありました。



豊田章一郎会長



総会風景

## 「ITS情報通信システムシンポジウム2007」開催される

6月7日（木）ITS情報通信システム推進会議の平成19年度総会に引き続き、霞が関東京會館ゴールドスタールーム（霞が関ビル）において、同推進会議の主催による「ITS情報通信システムシンポジウム2007」が、約170名の参加者を得て盛況に開催されました。

シンポジウムでは羽鳥光俊副会長の開会挨拶、森清総務省総合通信基盤局長の来賓挨拶に続き、次の3件の講演が行われました。

唐沢好男氏 電気通信大学電気通信学部電子工学科教授

「電波カーブミラー：安心・安全を担う車々間通信技術の研究最前線」

井原俊夫氏 関東学院大学工学部電気電子情報工学科教授

「交通弱者に対する電子タグによる安全運転支援システム」

鳥塚俊洋氏 (株)JAF MATE社JAF Mate編集長

「ドライバーにとって便利で役立つITSとは？」

唐沢教授からは、車々間通信環境における電波伝搬研究の最新動向の解説と地

上デジタル放送波の周期情報を利用した車々間通信ネットワークの同期システムに関する提案などがありました。

井原教授からは、交通弱者（歩行者・自転車・車椅子など）の事故低減を目指した、電子タグを用いたITS応用技術の研究開発状況についての講演がありました。

鳥塚編集長からは、ユーザアンケートに基づいた、ドライバーが期待するITSについての講演がありました。

最後に、天野肇調査部会長から閉会挨拶があり、成功裏にシンポジウムを閉会しました。

なお、講演の概要はITS情報通信システム推進会議のWebサイトに後日掲載されます。

URL：<http://www.itsforum.gr.jp>



シンポジウム風景



唐沢好男氏



井原俊夫氏



鳥塚俊洋氏



森 清  
総務省総合通信基盤局長



羽鳥光俊副会長



天野肇調査部会長

ARIBからの  
ご案内

次世代安心・安全ICTフォーラムのご案内

近年、地震、竜巻、津波、水害などの甚大な被害をもたらす自然災害が頻発し、これらによる被害を予測・軽減するための通信技術分野やセンシング技術分野における新しいテクノロジーと、それらを効果的に活用することが求められています。

総務省が平成18年2月より開催しました「安心・安全な社会の実現に向けた情報通信技術のあり方に関する調査研究会」の報告（平成19年3月19日）によれば、安心・安全な社会の実現のためには、産学官の幅広い関係者を結集し、災害情報通信システムの研究開発・実証実験・標準化等を推進していくための体制を整備すべきであるとの提言がなされたところです。

このような中、災害情報収集のためのセンシング技術から情報配信のための通信技術までを総合的に検討し、次世代安心・安全ICT（Information and Communication Technology）としての総合技術の実現と普及を目指した研究開発、実用化、利用促進、国際標準化等を産・学・官の連携の下で戦略的に推進することを目的に、平成19年5月28日に「次世代安心・安全ICTフォーラム発起人会」が開催され、関係分野の通信事業者、メーカー、学識経験者、関連府省及び関係研究機関など幅広い分野の方々の本フォーラムへの積極的な参加を求めるとなり、会員の募集を始めました。

当フォーラムは平成19年6月26日に予定の「次世代安心・安全ICTフォーラム設立総会」において正式に設立され、併せて当フォーラム会員に申し込まれた方も正式に承認される予定となっております。

フォーラムの設立趣旨等の情報及び申し込み方法の詳細に関しましては、以下のサイトをご参照ください。

皆様の積極的なお申し込みをお待ち致しております。

なお、個人会員に関しましては、年会費は不要とする予定です。

#### 【フォーラムに関する情報】

<http://www2.nict.go.jp/y/y202/ictfss/>

#### 【問合せ先】

次世代安心・安全ICTフォーラム準備会事務局  
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-20-2 小池ビル  
財団法人テレコム先端技術研究支援センター内  
担当：清水、山形  
TEL：03-3351-8166  
FAX：03-3351-1624  
Email：[ictfss@scat.or.jp](mailto:ictfss@scat.or.jp)